

最適土地利用対策

(農山漁村振興交付金)

地域でこんな声がありませんか？



市町村

農地をどのように
していくのか…



アシヤススキなどが繁茂



剪定しても継続栽培が困難

先祖代々の農地、
管理しきれない…



農地所有者

農地が荒れると
景観も悪いわ…



地域住民



農業者

荒廃農地を解消したいけど、
これ以上手を広げられない…

R3年度～

**「最適土地利用対策」
ができました！**



地域にあった農地の保全や体制をつくりましょう！



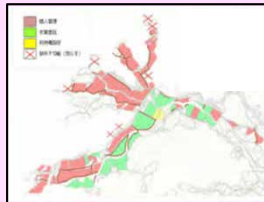
市町村

担い手が耕作する農地と
そうでない農地を明確化して、
最適な構想を整理できた！

話し合いや先進地視察、
計画策定等の経費を支援！



専門家を入れた話し合い



土地利用計画の策定

地域みなさんに農地を
安心して委ねられるわ！



農地所有者

粗放的利用のための
種苗代や管理経費を支援！



シソの取組



放牧の取組



植林の取組



エゴマの取組



農業者

無理せず農地を
利用できるね！

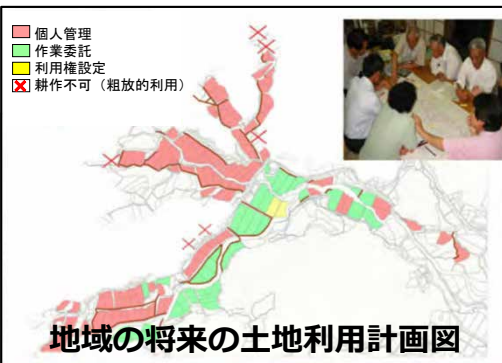
土地利用計画を実現するための
簡易な基盤整備や条件整備を支援！

農地を利用する取組に
私も一緒にチャレンジ
したいわ！



地域住民

地域ぐるみの計画策定、簡易な基盤整備、粗放的利用の取組を支援



担い手が耕作する農地とそうでない農地を明確化
最適な構想を整理



粗放的利用のための種苗代や管理経費を支援

最適土地利用対策

地域ぐるみの話し合いを通じ、重要な地域資源である農地の有効活用や粗放的な利用を行うモデル的な取組を支援

1. 農地等活用推進事業

- 【主な内容】
- 先進地視察や計画等策定経費 (ソフト) 交付上限: 200万円(初年度)
 - 簡易な基盤整備
 - 農業用ハウス、簡易トイレ等の環境整備 (ハード) 交付上限: 1,000万円/年

2. 低コスト土地利用支援事業 (粗放的農地利用事業)

- 【主な内容】
- 先進地視察や計画等策定経費
 - 粗放的利用(放牧や植林等)のための種苗費、管理経費
 - 省力化機械の購入費 (ソフト) 交付上限: 250万円(初年度)、5,000円/10a/年(2年目以降)
 - 粗放的利用のための簡易な基盤整備、電気牧柵等の条件整備 (ハード) 交付上限: 600万円/年

※1と併用する場合、ソフト: 350万円(初年度)、ハード: 1,000万円/年

3. 低コスト土地利用支援事業 (生産性検証事業)

- 【主な内容】
- 有事を想定した食料生産の実証及び実証に必要な農地の簡易な整備 (ソフト) 交付上限: 1,000万円/年(初年度)、600万円/年(2年目以降)

<事業要件>

- 計画等を事業開始年度に策定
- 5年間耕作又は粗放的利用
- 実施期間: 原則2年以上5年以内
- 市町村、農地所有者、農業者、地域住民の参画が必須
- 1工区事業費200万円上限
- ① 農地等活用推進事業
実施面積: 20ha(中山間10ha)以上、整備面積: 1ha以上
- ② 低コスト土地利用支援事業
実施面積: 10ha(中山間5ha)以上、整備面積: 0.5ha以上
- ※ ①と②の事業を併用する場合は、
実施面積: 10ha(中山間5ha)以上
整備面積: 1ha以上 (②の整備面積割合が8割以上)
- <事業実施主体>
市町村、農業委員会、農業協同組合、土地改良区、地域協議会、地域運営組織、農地中間管理機構
- <補助率>
定額補助、1/2、5.5/10

※ 実施面積は、地域で話し合いを行う範囲、整備面積は、整備対象の農地面積